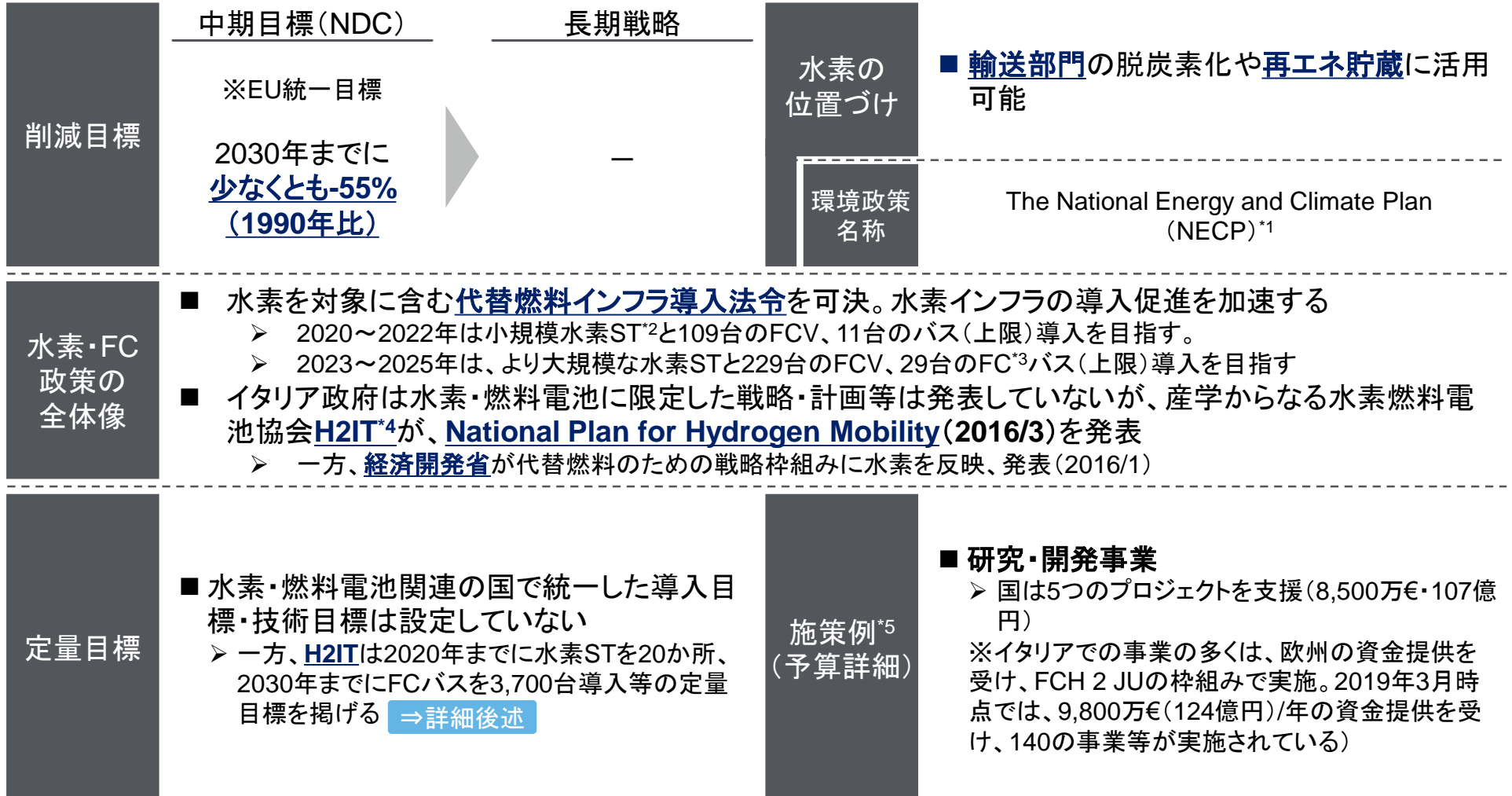




【国・地域別サマリーイタリア】 代替燃料インフラ導入法令の枠組みで、水素インフラ導入促進を進める

イタリア



出典: UNFCCC, IPHE, H2IT *1: NECP = the National Energy and Climate Plan 欧州統一のNDCを達成するため、欧州各国が提出を義務付けられている計画。ドラフトは2018年末、2019年12月末までに最終計画を提出する必要がある *2: ST = Station *3: Fuel Cell = Fuel Cell *4: 2005年設立。加盟数は20以上で、日系企業ではトヨタ自動車を含む *5: 2019年3月IPHE更新内容を参照



<参考： 定量目標詳細>

H2ITは、2020～2025年までのFCVやFCバスの詳細な導入目標を掲げる

H2ITが掲げる導入シナリオ

■ H2ITは、National Plan for Hydrogen Mobilityにて、FC車両や水素STの導入シナリオを掲げる

- 水素STについて、2020年までは小規模なSTを拡大、2023年以降はより大規模なSTを拡大する戦略
- 政府が掲げる定量目標ではないことに注意

			2020	2021	2022	2023	2024	2025
車両	FCV	販売台数	1,000台	1,657台	2,500台	4,676台	7,180台	10,000台
		ストック台数		2,657台	5,157台	9,833台	17,013台	27,014台
	バス	販売台数	100台	120台	150台	190台	235台	300台
		ストック台数		220台	370台	560台	795台	1,095台
水素ST	FCV用	50kg	10か所	25か所	47か所	47か所	47か所	47か所
		100kg		0か所		21か所	52か所	94か所
	バス用	200kg	10か所	19か所	32か所	32か所	32か所	32か所
		500kg		0か所		7か所	14か所	24か所